

### 第11回高崎学検定結果

- 受検者= 23歳～87歳の77人 (男性60人、女性17人)
- 最高点= 87点
- 平均点= 63.5点



**高崎学博士**  
五十嵐和江さん(貝沢町) 須永 保さん(倉賀野町)  
 黛 諭さん(剣崎町)

**高崎学の達人**  
佐藤 光基さん☆6 赤澤 章吾さん☆3 今井 康彦さん☆3  
 黛 堅さん☆2 大山 博幸さん☆1 湯浅 規弘さん☆1

**成績優秀者**

|         |         |                |
|---------|---------|----------------|
| 赤澤 章吾さん | 今井 康彦さん | 岩藤 泰具さん        |
| 大曾根 純さん | 大山 博幸さん | 櫻井 恵子さん        |
| 佐藤 光基さん | 佐藤 昌博さん | 田村 幸男さん        |
| 春山 文男さん | 黛 堅さん   | 湯浅 規弘さん (50音順) |

高崎を知り、高崎を愛し、高崎を創る高崎学検定

## 第11回「高崎学博士」に3人が決定

10月21日に行われた第11回高崎学検定の高崎学博士3人と成績優秀者12人が決定しました。また、これまでの検定で3回以上成績優秀者になった「高崎学の達人」には、6人を認定。高崎学の達人は、

成績優秀者になるごとに星の数が増えていきます。今回認定された高崎学博士や高崎学の達人、成績優秀者は左記のとおりです。

問い合わせは、市民活動センター・ソシアス(☎027-329-7114)へ。

「第11回高崎学検定問題と解説」を市役所1階市民情報センター、15階社会教育課、市民活動センター・ソシアスで無料配布しています。また、市ホームページで過去の検定問題と解答を見ることが出来ます。学習の参考に活用してください。

高崎学検定は、歴史、文化、産業など、高崎についての幅広い知識を問うご当地検定です。本市について広く学ぶことで愛着を持ってもらい、未来のまちづくりにつなげることを目的に実施しています。「高崎」について学び、成果を試す場として、ぜひ次回の高崎学検定に挑戦してください。

市ホームページ

### 今回高崎学博士になった皆さんにお話を聞きました

#### 五十嵐 和江さん

私は市外出身ですが、高崎藩をテーマにした県立歴史博物館の企画展を訪れたことがきっかけで、高崎の歴史に興味を持ちました。

高崎市には新鮮な野菜やフルーツがあったり、上野三碑や古墳などの文化財が大切に保存されていたり、各地域でさまざまなお祭りが行われたりと、活力のある素晴らしいまちだと思います。まだまだ知らないことがたくさんあるので、これからも楽しく学んでいきたいですね。



#### 須永 保さん

知人が高崎学の達人になったのを見て、検定を受けてみようと思いました。まさか博士になれるとは思っていませんでしたが、学んできたことが結果に表れてうれしいです。

私の住む倉賀野町は、歴史のある建造物がたくさんあります。検定を受ける人は、まずは自分の暮らす町の歴史などを知ること、そこから広い分野に興味を持てると思いますよ。

#### 黛 諭さん

元々歴史が好きなのですが、自分が昔から暮らしている地域のことも意外と知らないことが多いなと思って。そこから高崎の歴史を描いた漫画を読んで勉強するようになりました。楽しみながら学べるのでおすすめです。

検定の問題は難しいものもありますが、解説が分かりやすいので読むだけでも面白いです。観光ガイドの案内で市内の遺跡を巡ったり、資料館に足を運んだりすることでも、新たな発見があるかもしれませんね。

## 文化賞の受賞者が決まりました

書道や華道の振興に貢献

学術や芸術文化の振興に努めた市民に贈る市文化賞の今年度の受賞者が、書道家の石原春香さん、華道家の塚越応鐘さんに決まり、11月29日に市役所で授賞式が行われました。

問い合わせは、文化課(☎027-321-1203)へ。

### 受賞者の経歴と受賞理由



「今後も華のある字を書きたい」と石原さん

#### 石原春香さん(楽間町)

平成元年に、「かな」の第一人者・井茂圭洞氏に師事し、本格的に古典を学び始めました。繊細で気品あふれる作風の「かな」の書家として知られ、日本独自の書道文化である「かな」の振興に大きく貢献。7度の日展入選を果たし、県書道展覧会審査員や市民展の運営委員長として、本市の



「華道界全体の発展のために尽くしたい」と塚越さん

書道振興に力を注ぎました。現在も自宅や公民館など5か所で教室を開催するなど、後進の育成に尽力しています。

#### 塚越応鐘さん(芝塚町)

祖母で、いけばな松風初代家元の応環氏に師事し、華道を始めました。国内はもとより、中国やアメリカ、オランダなど海外でも展示や交流事業を精力的に行い、華道文化を海外に発信。松風流は昨年創流100周年を迎え、記念華展をシティギャラリーで開催しました。平成25年以降、市文化協会会長を務め、市民文化フェスティバルや日本文化体験セミナーを主導するなど、本市の文化発展に大きく貢献しています。

## 文化財保護賞の受賞者が決定しました

史跡の活用や文化財の保護に貢献した人を表彰

今年度の市文化財保護賞が、日高遺跡公園をともに楽しむ会と、清水喜臣さん(下室田町)に決まりました。同賞は、文化財の保護・普及などに功績のあった個人や団体をたたえるものです。今年度の授賞式は11月29日に市役所で行われました。

問い合わせは、文化財保護課(☎027-321-1292)へ。

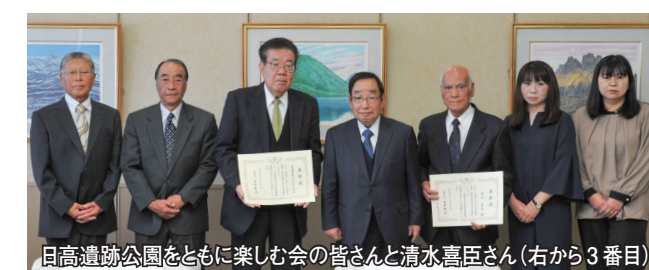
### 受賞者の紹介

▶日高遺跡公園をともに楽しむ会は、日高遺跡公園内に復元した弥生時代の水田の日常的な管理に取り組んでいます。また市民の稲作体験指導に継続して取り組み、同遺跡の普及活動を行ってきました。



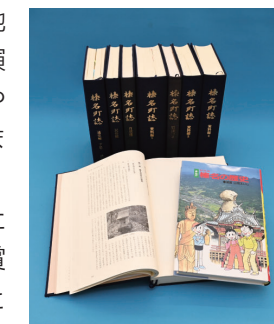
古代の水田での田植え体験

同会代表の猿谷明さんは「今回受賞させていただいたことで、会員一同さらなる飛躍を目指していきたいという思いです」と話しました。



日高遺跡公園をともに楽しむ会の皆さんと清水喜臣さん(右から3番目)

▶清水喜臣さんは、旧榛名町職員として文化財の保護に携わり、退職後は同町歴史民俗資料館長や町誌編集室長を歴任。現在も榛名地域の歴史に関する執筆や講演を行うなど、同地域の歴史や文化財の保護に尽力しています。



編集に携わった榛名町誌とまんが榛名の歴史

清水さんは「私にはもったいないくらいの栄誉のある賞をいただきました。ありがとうございました」と喜びを語りました。